

キム・シナ  
金新芽氏講演会

# 石ころの叫び

2005年

5月22日(日)

15:00開演

17:00終了

## 韓国ハンセン病患者としての体験から



© Yaegashi Nobuyuki

小鹿島での体験やハンセン病快復者定着村「忠光農園」の開拓、韓国のハンセン病の現況や金新芽さんの将来の夢などをお話しいたできます。

### 講演者のご紹介 金新芽 (キム・シナ)

1924年、韓国・慶尚南道サチョンに生まれる。20歳の時にハンセン病が発病。1960年、小鹿島(国立ハンセン病病院)へ。1977年、小鹿島を離れ、忠光農園へ創立者の一人として定着。1988年と1990年の2度、フレンズ国際労働キャンプ(FIWC)の招きにより日本を訪問。2004年、自伝とエッセイをまとめた「石ころの叫び」日本語版を出版。現在は忠光農園を離れ、小鹿島で暮らす。

Webサイト「モグネット」の「韓国のハンセン病」ページに金新芽さんのインタビュー記事を掲載

 www.magnet.org

### 会場

早稲田大学 西早稲田キャンパス

14号館B101教室(地下1階)

東京メトロ東西線「早稲田」駅下車

### プログラム

- 講演者紹介 森元美代治(特活IDEAジャパン理事長)
- 金新芽さんとの出会い  
菊池義弘(「石ころの叫び」訳者)
- 金新芽氏講演  
「石ころの叫び —韓国ハンセン病患者としての経験から—」
- 学生たちのハンセン病への取り組み  
西尾雄志(早稲田大学講師)
- 会場との質疑応答

### お問い合わせ

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター

Phone: **03-3203-4192** 担当: 西尾

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104-12

e-mail wavoc@list.waseda.jp



講演者著書 自伝+エッセイ集

### 石ころの叫び

韓国ハンセン病回復者と家族の歩んだ道

金新芽著、菊池義弘訳

新生出版 ISBN: 4-86128-038-9

書店またはモグネットにてご購入いただけます

WAVOC

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター

IDEA Japan

特定非営利活動法人IDEAジャパン

FIWC 関東

フレンズ国際労働キャンプ関東委員会